

神戸市卓球リーグ 大会要領

神戸市卓球リーグ（以下「卓球リーグ」という。）の運用について下記のとおり定める。

卓球リーグは、チーム戦（男子1～7部、女子1～7部）で構成する。ただし、部の構成は登録チーム数および各部の参加チーム数を勘案して増減する。

なお、神戸市民体育大会（卓球競技）・神戸市卓球選手権大会（年令別シングルス・ダブルス等）・神戸市小学生卓球大会・神戸市総合スポーツ大会（卓球競技）・こうべ長寿祭（卓球競技）についてはその都度大会要項を作成する。

記

1. 参加資格について

- ア. 参加チームは、神戸市卓球協会に加盟登録していること。
- イ. 高校生以下は参加できない。ただし、高体連に所属していない、若しくは高校3年生でクラブを引退した生徒は参加することができる。

2. 参加申込みについて

- ア. 所定の用紙又は書面で参加種目（部）・責任者名・大会開催日等必要事項を記載の上、郵送または大会会場で直接申し込む。またはWEB上で協会の指定するフォームに必要事項を入力し、データを送信する。
- イ. FAXまたは電話での申込みは受け付けない。
- ウ. 申込みの締め切りは、原則として大会開催日の1か月前。
- エ. 申込み締切日の翌日以降の取り消しはできない。
- オ. 取り消す場合は、申込み締切日までに申込み担当者へ郵送するか、神戸市卓球協会のメールアドレス（kobesitta@gmail.com）宛に取り消す旨の連絡をすること。

3. 参加料について

- ア. 参加料は、1チーム5,000円とし、開催時期により冷暖房代として1,000円を加算し徴収する。
- イ. 参加料は、大会当日に徴収する。
- ウ. 申込み締切日の翌日以降に棄権した場合は参加料を徴収する。

4. 適用ルールについて

- ア. 現行の日本卓球ルールを適用する。

- イ. ① 試合は1ゲーム1本5ゲームマッチとする。
- ② 参加チーム数その他の事情により1ゲーム1本3ゲームマッチとする場合がある。
- ③ 両競技者または組のポイントスコアが14：14になった場合は、先に15ポイントになった競技者または組を勝ちとする。
- ウ. ゼッケンを着用し、姓と所属チーム名が分かるようにすること。
- エ. 各チームは、日本卓球協会公認の同じユニフォーム(上・下)で競技すること。ただし、シューズは同系色であれば認める。服装要件を満たせない場合は、当日の競技開始までに審判長の許可を得ること。
- オ. 揮発性有機溶剤を含むラバー接着剤・ラバークリーナー等の使用を禁じる。
- カ. タイムアウト制は採用しない。
- キ. ゲーム開始後10分経過した時点で促進ルールを適用する。
(特別ルールとし、双方のポイントスコア合計が18ポイントに達した場合は適用しない…の日本卓球ルールは適用しない。)

5. チーム編成、登録選手の変更および同一チーム内での移動について

- ア. チームは、当該年度末まで登録した選手で卓球リーグに参加するものとし、登録選手は他チームの選手として参加できない。
しかし、チームの解散、登録選手の不足などの事情があった場合で、神戸市卓球協会が認めた場合はこの限りでない。
- イ. 登録選手の変更、追加は事前に書面により神戸市卓球協会に届け出て承認を得ること。
- ウ. 登録選手変更を行った場合は原則として変更後元のチームには戻れない。
- エ. 申込み時点で選手が揃わない場合は、同じ部または下位の部の同一登録チームの選手を移動させて申込みすることができる。この場合、移動は2名までとし移動元のチームは移動後4名以上で申込みをするか、若しくは不参加の場合とする。
- オ. 大会当日何かの事情で選手に不足が生じた場合は、審判長の事前承認を得た場合に限り、同一登録チームからの移動ができる。ただし、移動元のチームが不足(4名に満たない)にならないこと。
上位チームからの移動はできないが、同一および下位からの移動はできる。(これは当日のみの対応とする。)
(例) ○○クラブA(2部)・B(4部)・C(5部)チームにおいて
A(2部)からB(4部)・C(5部)への移動は認めない。
C(5部)からA(2部)・B(4部)への移動は認める。

6. 棄権の取り扱いについて

- ア. 棄権チームとは、大会に参加申し込みをしたが試合当日に来られないチーム、当日選手に不都合が生じて、試合放棄するチームをいう。試合の途中でやむを得ない事情により棄権する場合はそれまでの試合結果は得失点として反映される。
- イ. 申込み締切日の翌日以降に棄権を申し出たチームは、理由の如何にかかわらず降格する。
大会当日、審判長の判断により棄権したチームのリーグ(ブロック)の再編を行った場合は、

以下の取り扱いとする。

- ① 4チームリーグで1チームが棄権し、他のリーグから編入し4チームとなった場合は、棄権したチームおよび最下位チームが降格する。(編入がなく3チームリーグになった場合最下位チームは降格しない)
- ② 4チームリーグで1チームが棄権し、残りのチームを他のブロックに再編した場合、再編により5チームから4チームになったリーグは、再編後のリーグの最下位が降格する。
- ③ 5チーム以上のリーグが再編によりチーム数が減った場合もリーグの最下位が降格する。

7. 試合方法について

ア. 3～5チームによるリーグ戦を行い、その後リーグ戦1位チームによる決勝トーナメントを行う。ただし、会場、参加チーム数等により変更することがある。

※ダブルスはシングルスと重複出場できるが、シングルスは重複出場できない。

イ. リーグ戦は登録選手による1ダブルス4シングルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法(試合オーダー順)により勝敗を決定する。ダブルスに出場した選手は2番シングルスに出場できない。

ウ. リーグ(ブロック)において3チームの場合は、ラスト(5番)まで試合を行い、順位決定は5番までの総合成績による。

エ. 決勝トーナメントは登録選手による1ダブルス2シングルスを編成し、1番にダブルスをおき、2点先取法により勝敗を決定する。(選手は重複出場できない)

オ. 試合に必要な人数が揃わないチーム(3名しかいない)でも試合は成立する。この場合、相手チームに1名足りないことを伝え、2番を棄権としてオーダーを提出する。

なお、2名以上足りないチーム(2人しかいない)は棄権とする。

カ. 3人チーム同士が対戦する場合の試合順序は以下の通りとする。

(1) 予選リーグ(1D4S)

※試合前にくじ(拳)でどちらかを選択する。

[ABCチーム] ①AB ②C ③A ④B ⑤C

[XYZチーム] ①XY ②Z ③X ④Z ⑤Y

(2) 決勝トーナメント(3S)

3シングルスの2点先取とする。

キ. 試合開始のあいさつ(オーダー確認)にはオーダーに記載されている選手全員が揃っていること。やむを得ない事情により選手全員が揃わない場合、相手チームの了解を得て試合順序を変えて行うことができる。

ただし、不在選手に試合が回ってきた場合はそれを棄権として取り扱う。全ての試合が終了した時点(試合終了時のあいさつ)でも揃っていない場合は、審判長に報告し、審判長が判断する。

ク. オーダーの間違いについては、試合開始前後にかかわらず以下の通りとする。

オーダー間違いの内容	対処方法
1番のダブルスに出た選手が2番シングルスに出ている。	2番のシングルスを負けとする。
シングルスに2回以上出ている。 (例えば2番と5番に)	ダブっている前のマッチを負けとする。
登録選手ではない者(資格がない)が出ている。	当該選手を負けとする。
名前を偽って、オーダーに記入された選手と違った選手が出ている。	チームを負けとする。 (当該試合を没収)

※ 基本的な考え方は、小さなミスと思われるものについてはこれを無視し、提出されたオーダーを最大限有効として試合を成立させるものとする。(誤字などで名前の一部が違う等は有効とする)

ケ. 不戦勝者は各ゲーム1 1-0、マッチ3-0で勝ったものとする。

ただし途中棄権などで、部分的にプレーが行われている場合は、すでに確定したポイントはカウントする。

8. 部の昇格・降格について

ア. リーグ(ブロック)において2部以下の1位チームは、次回出場する大会において1クラス上の部に昇格する。

イ. リーグ(ブロック)において6部までの最下位チームは次回出場する大会において1クラス下の部に降格する。ただし、大会本部の判断で降格させない場合がある。

ウ. 棄権による降格については、本要領6.棄権の取り扱いの例によるものとする。

9. マナー、その他について

ア. 体育館の利用規則を守ること。敷地内禁煙。競技場内は土足厳禁。競技場内での飲食禁止。ただし、キャップ付きの飲み物のみ認める。

イ. 試合以外は競技領域の混雑緩和のため原則観覧席で待機すること。

ウ. ラバーの貼り替えは指定された場所で行うこと。

エ. 盗難予防のため、自分の荷物は注意して保管のこと。

オ. 昼食時間は設けない。試合の進行に妨げのないように食事をする。

カ. 大会で負傷した場合は傷害保険を適用するので早急に申し出ること。申し出が遅くなると対応できないので注意。

キ. 自分の出したゴミは各自で持ち帰ること。

ク. 卓球台の上には、ラケット・ボール以外、荷物等を置かないこと。

「来たときよりも美しく!!」当協会モットーです。皆様のご協力をお願いします。